

令和2年度 南木曾町表彰式 式辞

朝晩めっきりと冷え込むようになり、山々の木々も美しく着飾る季節となりました。本日、この「文化の日」に、ご来賓各位のご臨席を頂く中で、令和二年度南木曾町表彰式を挙げる運びとなりました。本来であれば、大勢の皆様が参列のもとに開催すべきところではありますが、申すまでもなく、まだまだ新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、従来より規模を縮小しての開催となります事、どうかご理解いただきますようお願い申し上げます。

本日の表彰式は、永年にわたり町づくりの各分野において、献身的な活動を続けられたり、町政の進展や、住民の皆さんの模範となる徳業を示すなど、多大な貢献をされた皆様を表彰する意義深い式典であります。

受賞されます皆様方の長年にわたるご努力や、献身的なご労苦に対しまして、深く敬意を表すると共に、支えてこられましたご家族や関係の皆様も含めまして、感謝を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症については、我が町でも対策本部を中心に、何よりも町民の皆さんの命と健康を守ることを最優先に、必要な対応を講じてまいりました。今後とも、感染拡大防止の為の措置を講じていくと共に、一方では冷え込んだ社会経済活動を呼び戻して、地域を元気にしていく為の取り組みをも実践していかなくてはなりません。引き続き、町民の皆様のご理解とご協力のもとに諸施策に取り組んでまいる覚悟です。

また、大きな被害の発生には至りませんでした。七月には異常な長雨により、当地域で初の大雨特別警報が発令されるなど、木曾川の氾濫や土石流災害の発生が心配されました。日頃は自然の豊かな恵みに感謝している我々ではありますが、自然が持つ脅威に対しては、これまでの教訓を活かして、災害をかわしながら災害に負けない、安心して暮らせる町づくりを進めていく必要性を痛感しております。

さて南木曾町は来年一月一日に、町制施行六十周年を迎えます。六十年は人であれば還暦にあたる区切りの年ともなります。人口こそ減少したものの、先人の皆様方が不断の努力により築いてこられた「ふるさと南木曾」が歴史を積み重ね、これからも小さくても輝き続けられるように努めていかなくてはなりません。

「南木曾を元気に～住んで良かった、暮らしてよかった、住むなら南木曾町～」と胸を張って言えるように、ここに住む一人ひとりが活躍し、健康で幸せな生活を送り、次の世代に繋がるよう、町民の皆さんと力を合わせながら、共に町づくりに取り組んでいく覚悟を新たにしているところです。

本日は表彰させて頂く皆様、また、ご臨席の皆様方におかれましては、これまでの尊い経験とそれに基づく豊富な知識知見を、町の将来のために、ご教示頂ければ大変有難く幸いです。どうか、これまで以上のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方の一層のご活躍と、本日ご列席の皆様方のご健康ご多幸を心からご祈念申し上げます。式辞といたします。

(令和2年11月3日 南木曾町役場大会議室)